

# そううんくん

令和2年10月20日 第12号



## ☆☆☆地域の方の声「小学生の挨拶が・・・」☆☆☆

荇原っ子六か条を態度で表す一丁目一番地が『挨拶』だと思います。第1条礼儀「挨拶ができる礼儀正しい子どもだな。」第2条思いやり「相手の気持ちを考えることができる思いやりのある子どもだな。」第3条感謝「ありがとうの気持ちを素直に伝えることができる子どもだな。」第4条努力「簡単なことのように続けるのは難しい挨拶を頑張っている子どもだな。」第5条責任「学校で決めた挨拶運動を責任をもって頑張っている子どもだな。」第6条奉仕「損得や感情に左右されず自分ができる挨拶はして、相手をよい気持ちにする行いができる子どもだな。」ということです。登下校時の挨拶（家族や友達・先生・地域の方に）も、返事やお礼の言葉も、相手を意識してできると、これから一生使えるコミュニケーション能力の一つを身に付けることができます。きっと家庭でも機会を捉えて話してくださっているのではないかと思います。もちろん学校でもしています。しかし、このところどうも評判がよくないのです。中学生の挨拶はとてもよいと評判です。なぜでしょうか。まだ小学生だから仕方がないと甘えているわけにはいきません。ここ一番、今から100人の荇原っ子の本気の『荇原魂』を発揮してくれるようご家庭でも声掛けをお願いします。

荇原っ子のあいさつのめあて

**あ**かるく 元気よく  
**い**つでも どこでも  
**さ**きに 自分から  
**つ**ないで 声と心を

## 学芸会練習が本格化

来る10月31日（土）の本番を目指して、学芸会の練習にどの学年も熱が入ってきました。今年は感染症対策で例年ようにはいかないことを工夫しながら、音楽や劇の練習に取り組んでいます。子どもたちは児童会で決めたスローガン「心をついに～113人で感動を届けよう～」をめあてに頑張っています。ご期待ください。なお、当日の参観もいくつかの制限を設けていますが、子どもたちの安全のためにご理解ご協力をお願いします。



## 4年生が小田川で環境学習

荇原小学校校歌の2番は「小田の流れの水清く 明るい笑顔映しつつ」で始まります。そのふるさとの川で4年生が体験学習をしました。馬越橋付近の小田川で、ゴリ漁やガサガサ漁などを体験した子どもたちは、オイカワやドンコ、エビなどいろいろな魚がいることを知り、興味をもっていました。小田川協組合長の古城さんを始め、地域のボランティアの方々が準備から当日の世話をしてくださいました。教室を出て、貴重な学習ができたのもボランティアの皆さんのおかげです。ありがとうございました。今後は自然を守るために自分たちができることを考えていきます。

